



国際交流ひろば



鳥取市国際交流員
イザベル・ハーター

ドイツの 中央広場と朝市

最近「まちづくり」という言葉がよく使われます。私は、それはまちを面白くにぎやかにすることだと思えます。ドイツのまちの中で一番にぎやかなところはどこかご存知ですか？それは朝市が行われる中央広場です。今回は姉妹都市のハーナウ

市を例にして、ドイツの朝市がどんなものか紹介したいと思えます。

中世のヨーロッパでは、市役所の前には、たいてい大きな広場がありました。ここでは、市民が集まって、祭りをしたり、また、商売や政治の場でもありました。ご存知のように、死刑を執行したり、市長が市民に話しかけたりもしました。

ハーナウ市では、毎週水曜日と土曜日に朝の午前七時から午後一時まで市が立ちます。その時には地方の農家や商人が集まって約百店が出店し、自分が作った商品を売っています。その中には有機栽培農家や、大規模経営農家もいます。商品も、地方の果物や野菜、手作りパン、はちみつ、酒、ハーブなど多種

多様です。チーズ屋さん、肉屋さん、魚屋さん、花屋さんなども出店します。ハーナウ市には外国の人も多く住んでいるので（人口の約二十パーセント）、イタリア人、トルコ人、ギリシア人の店もあります。おいしいつけものや、地中海の珍しいワイン、オリーブオイルなども買うことができます。

ハーナウ市のホテルやレストランの料理人は、たいてい朝市に行つて、一番新鮮な食材を買います。正午を過ぎると、売り手は大きな声でそれまで残っている商品を安く売ってくれるので、広場はとてにぎやかになります。

ハーナウ市の市役所前広場は、朝市だけではなく、市民のための祭りやパーティーなどのイベントにも使われます。例えば、今年八月三十日には、ハーナウ市生まれのルディ・フェラー（ドイツサッカー代表チーム監督）がその活躍（ワールドカップ準優勝）によりハーナウ市から名誉市民の称号を与えられました。これを祝うため、市役所前広場に約五千人のファンが

集まって、サッカーパーティーが催されました。大型スクリーンでワールドカップのハイライトシーンを映したり、ライブ、ショーイベントなども行われました。フェラー監督は市役所のベランダから大勢のファンに向かって、感謝の気持ちを述べました。

このように、ドイツのまちの中央広場は市民の憩いの場であり、生活の場であり、にぎわいの場でもあります。日本という「まちづくり」の中心となっているのです。

鳥取駅前にも大きな広場があります。あそこでもいろいろなイベントができると思えます。一度「日曜朝市」を試してみたらいかがでしょうか。

鳥取市国際交流プラザ からのお知らせ

ドイツ料理教室生徒募集！

- と き 12月6日（金）午前10時30分～
- と ころ 鳥取市国際交流プラザ
- 講 師 イザベル・ハーターさん
- 定 員 10名（先着順）
- 受講料 無料（材料費は自己負担）
- 申し込み先 鳥取市国際交流プラザ
（湖山町西一丁目・ & F A X 31 3253）